

経営比較分析表（令和2年度決算）

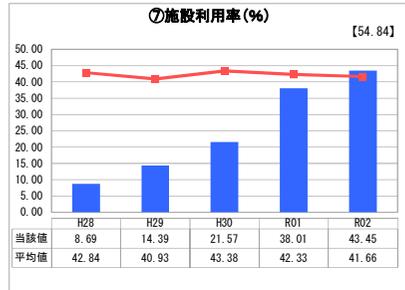
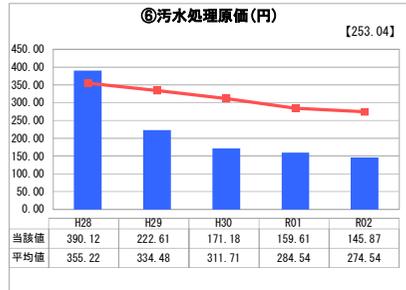
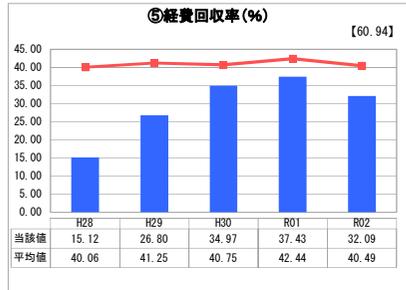
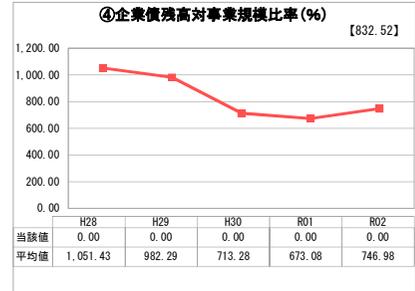
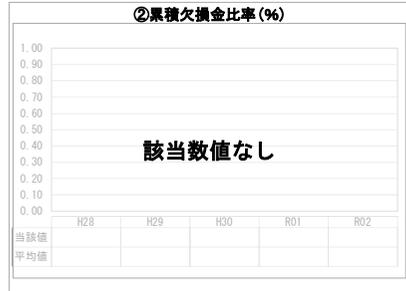
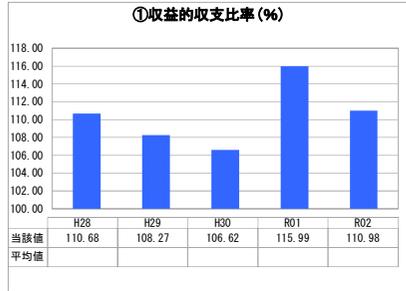
沖縄県 金武町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	85.60	104.53	1,200

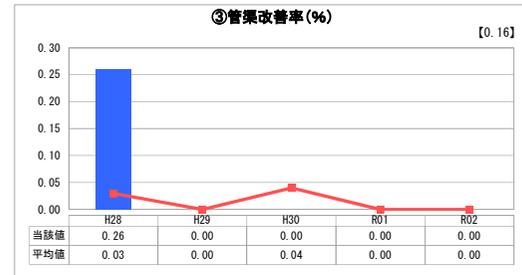
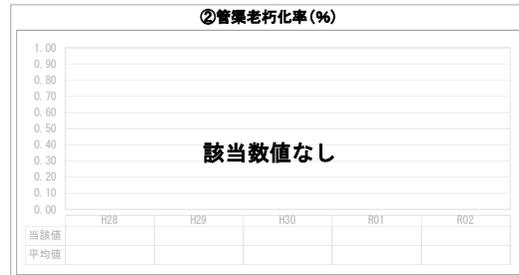
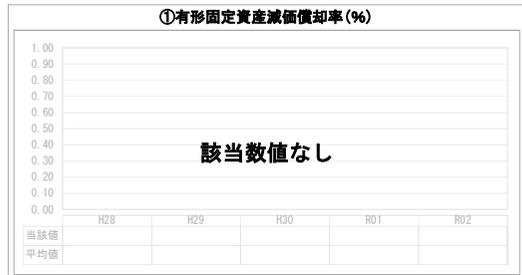
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,450	37.84	302.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,800	2.81	3,487.54

グラフ凡例
■ 当該団体の値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和元年度は集落排水事業推進中で、整備費に多額の費用を要しているため、依存財源86.38%(132,599,000円)、自主財源13.62%(20,909,878円)で費用(139,361,378円)を賄っています。

④企業債借入れはありません。

⑤経費回収率は前年度より若干減少しておりますが、この主な要因は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う経済対策として、水道における家庭用及び営業用の下水道使用料の令和2年5月検針分から7月検針分までの3か月分について全額免除したことによるものであります。

⑥平成28年度から並里・金武地区の下水道処理施設も稼働し、下水道接続件数の増加に伴い、汚水処理原価が上昇しています。

⑦施設利用率も下水道接続件数の増加に伴い若干の上昇傾向となります。

⑧水洗化率はまだ低く推移しており、下水道推進に取り組んでまいります。

2. 老朽化の状況について

集落排水施設整備は平成18年度から実施し、平成24年度から供用開始しています。管渠の耐用年数からみても老朽化はみられません。

全体総括

平成28年度から供用開始した金武・並里地区の集落排水事業の接続率向上を図るため、住民周知や接続工事費の補助金活用を積極的に行ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。